

わんぱくキッズ育成施設整備事業の実施について

1 . 事業の目的

(1) 現 状

南相馬市教育委員会が実施した新体力テストの総合評価(平成 22 年度・平成 24 年度)及び健康診断結果(平成 22 年・平成 24 年度の栄養状態より)によると、震災後の子どもの体力の低下、肥満傾向が顕著に表れている。

また、屋外活動の制限が解除された後も、一部の保護者の不安感は払拭されず、子どもの屋外活動は依然として低迷している。

それらは、震災後の仮設住宅における住環境悪化による生活様式の変化、学校生活における屋外活動の制限、家庭生活における外遊びへの抵抗などにより、子どもが活発に運動する機会が減少したことが主な要因であると考えられ、子どもを安心してのびのびと遊ばせる施設の整備が求められている。

(2) 対応策

市内において、低下した子どもの体力向上と肥満傾向の改善を図り、子育て家庭が安心して子どもを遊ばせることができる環境を確保することを目的として、子どもの遊びのための屋内施設を整備する。

(3) 期待される効果

本事業において、震災前からの懸案であった雨天時の子どもの遊び場を確保するとともに、震災後に生じた保護者の外遊びに対する不安を払拭する環境を整備することにより、子どもたちが震災前以上に体を動かすことの喜びや楽しみを享受できる環境を提供し、子どもの活動が活発化することによって、体力の向上や肥満傾向の改善に大きく寄与するものである。

2 . 事業の概要

(1) 事業期間

平成 2 5 年 8 月 ~ 平成 2 6 年 3 月 (供用開始予定)

(2) 事業内容

ア 設置場所

南相馬市原町区高見町二丁目 22-1 地内
(現「原町ふれあいドーム」設置敷地に施設解体後に設置)

イ 施設仕様

施 設	面 積	機能・用途
ドーム型膜素材施設 (S 造)	1,200 m ²	<p>(遊びのスペース)</p> <p>規模：間口 30m × 奥行 40m</p> <p>床面：人工芝、一部クッションフロア床張</p> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生が雨天時においても十分運動、遊びが可能な中学校体育館と同規模の広さを確保。 ・ 屋根及び壁を膜素材にすることにより自然光を多く採り入れ、屋外に似た開放感を演出。 ・ 子どもの怪我の防止のための身体に優しいクッション性床面を採用 </div> <p>(トイレ)</p> <p>一般：子ども用、大人用 男女各 1 か所</p> <p>多機能：車いす用、おむつ替え用 1 か所</p> <p>(管理施設)</p> <p>管理室、水道設備、空調設備ほか</p> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・ A E D 等を配置し、機能、安全性を確保 </div> <p>(屋内遊具等)</p> <p>小学生向けの遊具、設備等は、アスレチック遊具など専門家や市民の意見を聴き選定</p>

ウ 事業費 284,445 千円

事務担当課

健康福祉部男女共同こども課
子育て支援係
電話 0244-24-5215





わんぱくキッズ育成施設整備事業の概要

平成 25 年 8 月 1 日
男女共同こども課

【事業のポイント（前回説明時からの変更点を含む）】

- 本施設は、子育て世代等の要望を踏まえ、子ども（小学生）の外遊びを促進することが目的。現在検討中の屋内体育施設（スポーツ施設）とは別施設
- 子どもの遊び場の構造形状について、高見公園との自由な行き来が可能な全天候型の遊び場を提供するため、密閉型から開放型に変更
- 施設規模については変更ないものの、管理室、トイレ等の付帯設備を設置しないことにより、遊びのスペースを最大限確保
- 施設管理人等を配置しないことにより、維持管理経費を大幅に縮小
- 本施設の利活用の促進策等については、26 年度当初予算において措置

1. 事業の目的

(1) 現 状

震災後、子どもの体力の低下、肥満傾向の拡大が顕著に表れており、今後の子どもの健全育成について懸念が生じている。

原因は、震災後の仮設住宅における住環境の悪化等による生活や遊び方の変化、学校生活における屋外活動の制限、家庭生活における外遊びへの抵抗などにより、子どもが活発に運動する機会が減少したことが主な要因であると考えられ、子どもを安心してのびのびと遊ばせる施設の整備が求められている。

(2) 対応策

市内において、低下した子どもの体力向上と肥満傾向の改善を図り、子育て家庭が安心して子どもを遊ばせることができる環境を確保することを目的として、子どもの遊びのための屋内施設を整備する。

(3) 期待される効果

本事業において、震災前からの懸案であった全天候型の子どもの遊び場を確保することにより、子どもたちが震災前以上に体を動かすことの喜びや楽しみを実感し、外遊び等の活動が活発化することによって、体力の向上や肥満傾向の改善に大きく寄与するものである。

2. 事業の概要

(1) 事業期間

平成 25 年 8 月～平成 26 年 3 月（供用開始：平成 26 年 3 月下旬予定）

(2) 事業内容

ア 設置場所

南相馬市原町区高見町二丁目 22-1 地内

(現「原町ふれあいドーム」解体後の敷地に設置)

イ 施設仕様

- 利用対象者は主に小学生とし、雨天時においても十分に運動、遊びが可能な小中学校体育館と同規模の広さ、安全性を確保する。
- 屋根等に膜素材等を採用して自然光を多く採り入れ、隣接する高見公園との一体性を持つ相互に行き来できる解放された施設とする。
- 子どもたちが魅力を感じる施設形状とするほか、活動量を増加させ、遊びを創造できる遊具等を配置する。
- 遊具の整備に当たっては、子どもの体力向上策に関する専門家や市民等の意見を踏まえながら選考する。

施 設	面 積	機能・用途
屋内こどもの遊び場（開放型）	約 1,200 m ²	構造：鉄骨造膜素材施設 規模：間口 30m × 奥行 40m 設備：人工芝、照明、遊具

ウ 事業費 274,706千円

(内訳)

建設工事費 (設計、設営、設備費)	236,250千円	→ 定住等緊急支援交付金(1/2) → 震災復興特別交付税(1/2)
解体工事費	4,515千円	
遊具整備費	32,760千円	→ 福島県安心こども基金(2/3)
事務費	1,181千円	→ 定住等緊急支援交付金(10/10)

エ その他

施設の整備に当たっては、事業者の創造性、技術力、実績等を適正に審査し、この事業に最も相応しい事業者を選定できるよう、公募型プロポーザル方式を採用し、設計から施工までを一括業務委託する。

3. その他（整備後の維持管理等）

(1) 利用時間等

- 原則、高見公園と同様の利用時間とするが、子どもの健全育成の観点から、夏場は19時、冬場は17時に施設照明は消灯する。
- イベント等の利用の際は、イベントの時間に合わせる。
- 施設の利用料は、無料とする。

(2) 維持管理

- 主な経費は照明代、清掃費等であるが、年間10数万円と見込まれる。

(3) 利用促進策

- 学校、地域、子育て団体（NPO等）との連携を強化し、学校行事等での利用のほか、来年度当初予算に向けて市のソフト事業（プレーリーダーの育成、各種遊びイベントの企画等）を構築する。

わんぱくキッズ育成施設内部イメージ

遊具設置エリア

フリースペース

平面図（震災後）

S=1:500



3

わんぱくキッズ育成施設
整備事業計画地

高見公園

緑の憩楽ゾーン

南相馬市道の駅

平成 26年 3月 25日 第 1 号	南相馬市 南相馬市復興計画第 2 期 地区内
高見公園地区 工事	計画 1:500
設計 1:500	作成 1:500
監理 1:500	作成 1:500
設計 1:500	作成 1:500
監理 1:500	作成 1:500

わんぱくキッズ育成施設（イメージ図）

【 外観図 】



【 内観図 】

